

# 平成25年10月 保守作業(10/6)



この4月から「定期保守」を始めたコッペル機ですが、過去3回はいずれも雨。初めて青空の下で作業が出来るとあって、参加者の士気も高まる・・・？



長期間、機関車本体の「磨き作業」が出来なかった割には、比較的良いコンディションに見受けられました。ただ、流石に画像のような汚れ筋があちらこちらに見られました。これは「磨きがい」がありそうです・・・

コッペル32号機  
(直方市石炭記念館)



油を含ませたウエス(布)で、丁寧に車体を磨き上げるのと同時に、塗装が傷んだ部分はタッチアップを施していきました。



銅製の配管は表面が酸化して黒くなっていたため、本来の輝きを取り戻すべく「磨き出し」を行いました。

D51形225号機  
(直方いこいの村)



経年により各部の傷みが目立ち始めていますが、少しでも美しく見える様、力と気持ちを込めて車体を磨いていきました。



こちらはキャブ(運転室)内を清掃する父...



その頃、息子達は草むしり...かな？

D51形225号機  
(直方いこいの村)



こちらはベテランから若手へ「技術指導」...？



先月は雨に祟られ、車庫を開けずに作業を行ったため「車庫全開」は  
久々です。キューロックも気持ち良さそう...？

9600形59647号機  
(汽車倶楽部)



9600形59647号機  
(汽車倶楽部)



「メカ大好き班」が今回、目を付けた…いや手をつけたのは連結器。専門職以外はまず弄る機会など無いでしょう。「汽車磨き」に参加すると、こんな事も経験できたりします。

C61形18号機  
(汽車倶楽部)



この時期から「クモの巣」との闘いが始まります。去年は巨大な巣が張られていましたが、今年はさて、どうだったのでしょうか？



こちらにも雨絡みであまり磨けていなかったもので、いつもにも増して丁寧に磨きあげていました。

番外編  
@直方市石炭記念館  
(C11 131)



直方市石炭記念館には、コッペルの他に「C11 131」という蒸気機関車が保存されています。コッペルと比べると、チョット可哀想な外観ですが…ま、それはさて置き、機関車の前には小さな花壇があり、コスモスが咲き始めていました。



その「ミニ・コスモス園」の草むしりをしてくれた親子。微笑ましい姿ですね…

番外編  
@直方市石炭記念館  
(C11 131)



ちょっと「アーティスティック」に・・・？